

日時	平成 28 年 1 月 8 日 12:30～15:00
派遣先	千葉県立佐倉高校
活動内容 生徒数：40 名 教員：3 名	<p>14:45 ごろ佐倉高校に到着。</p> <p>15:15 ごろから授業開始。シンガポールでする予定の発表を英語でスライドを使いながら行う。アルミの染色や紙飛行機について 2 つのグループが全体の前で発表した。留学生は母国インドネシアでの経験も踏まえて、生徒に質問やアドバイスをしていた。</p> <p>16:00 ごろから 2 つの教室に生徒と留学生が分かれて順番にすべてのグループと 5 分くらいずつディスカッションをする。それぞれのグループがポスターを作成しており、それをもとに留学生に説明し、意見を交換していた。またグラフ、材料などそのグループのテーマに関することから、英文法まで短い時間の中で様々なことを確認していた。</p> <p>後半の各グループが順番に留学生とディスカッションをしたことで、授業に参加していた生徒全員が留学生と関わることができたと考えた。あるグループでは英語だと思っていた単語が実は日本語であることがわかったため、留学生と関わることもできたからこそ、発見できたことなのではないだろうかと考えた。また高校生の発表が専門的な単語が多く初めて聞くような単語もあったが、スライドを使って説明していたため、わかりやすかった。</p>
派遣先教員 コメント	<p>留学生の専門と生徒の専門が一致し、多くのアドバイスをいただくことができました。生徒もとてもよく質問しており、留学生も熱心に答えてくれました。</p>
留学生 コメント	<p>I am grateful when I can help them to improve their presentation I poster. But it will be a constrain if I don't really (or even may not) understand their topics.</p>
学生リーダー コメント	<p>普段はなかなか英語を話す機会がないが、今回参加して英語で理解できる嬉しさを学んだ。その一方で英語の表現が浮かばず、うまく伝えられないもどかしさも感じが、伝わるように言い換えや身振り手振りをするのでお互い分かり合えたと考えたため、コミュニケーションしようとする気持ちが大切だと考えた。</p>

